

授業科目 英語ⅡB

【担当教員名】 五十嵐 紀子		対象学年 1	対象学科 理学・作業・言語・芸術・栄養・林・社会・看護
		開講時期 後期	必修・選択 選択
		単位数 2	時間数 30
【<概要>又は<一般目標：G I O>】 【スピーキング・発音矯正】 話すことは、ことばを口に出して言うという動作そのものを意味するものではない。どんな目的で誰に対して、いつどこで何をどんな風に言うのか、などを意識することから始め、それに応じた話し方をするためのトレーニングを行う。 授業では、日本人英語学習者が苦手とする英語特有の発音を集中的に練習することに加え、その他の素材を用いて、ことばを味わい、発音することについて学習していく。			
【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】 1. 発話の目的を理解する 2. 話すことについて理解を深める 3. 日本語と英語の発音の違いを理解し、聞き分け、発音が出来るようにする 4. 3を達成するために必要な発音記号を理解する 5. 腹式呼吸による発声方法を身につける 6. 状況に応じた話し方が実践できる			
回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション		講義と演習
2	母音①		講義と演習
3	母音②		講義と演習
4	母音③		講義と演習
5	子音①		講義と演習、小テスト
6	子音②		講義と演習
7	子音③		講義と演習
8	子音④		講義と演習
9	音の変化①	小テスト	講義と演習、小テスト
10	音の変化②		講義と演習
11	音の変化③		講義と演習
12	イントネーション・アクセント		講義と演習
13	総合練習		講義と演習
14	発表		発表
【使用図書】		<書名>	<著者名>
教科書 (必ず購入する書籍)		英語発音・聞き取りの基礎	杉野健太郎、ジョセフ・ラウアー
参考書			Asahi Press 2004年 2,000円
その他の資料		必要に応じてハンドアウトを配布する	
【評価方法】 授業での取り組み、小テスト、発表等により総合的に評価する		【履修上の留意点】 積極的に授業に参加し、自らの課題を見つけること。	

全科共通科目 基礎教養